

竜丘時報

長野縣下伊那郡竜丘村墨香地
 編輯者 今村玄吾
 印刷所 今村玄吾
 代表者 今村順三
 長野縣下伊那郡竜丘村墨香地
 印刷所 龍共社印刷所

論壇

小學校卒業後の方針

六ヶ年或は八ヶ年の小學校教育を了へさせていよいよ卒業となる親達に云つて、吾子に一應の教育を施した云ふ安心に似た喜びと共に、如何にしてこれ等を實社會に送り出すかが、亦一つの悩である。現世情に於て殊更その悩が深い。

こゝにいよいよ實社會に乗り出さんとするものに取つて第一何れの方面に進むかの方針を定める事、それを速やかに實現する事が最も重要な事であらう。その方針については子供の希望手へ至念すべきは勿論ながら、それを子供から正確に聞き得ようとする事は、自身過去の経験から押しも不可能である。故に親達が子供の性質や或は、頭腦の程度に依つて子供と相談の上定めるべきで、だから云つてあまり子供の性質を無視したる方針の強要は、この年齢期にある子供が、親の言葉を天下一式になんでも聞入れる時代だけに、親としてもここに無責任なる事云はなければならぬ。又子供が進まないから云つて唯漫然と放置して置く事は將來に對して最も危険で、親として適當な方法を講じてやらなければならぬ。

更生の一案

或る人が何處か永住の地をほしいと、方々視察研究した揚句、我竜丘村を見立てた云ふ事を聞きました。孔子も里は仁を美とす、擇んで仁に處らざるば、焉んぞ知たるを得ん。

云はれたが、我竜丘村は此意味に於てよい村に見られそうに思へる。

○さればさて他の村々に比して別に之云ふ長所はない。寧ろ弱點が多い、例へば財政の上にて、進取の氣象に於て、事業經營の上にて、之云ふ望を將來に囑すべき事が乏しい氣がする。

○此觀察にして大過なしとするに、仁里、住みよい村云ふ好評は、やがて情弱な村、活氣なき村、行きつまる村となりはせんかこの杞憂を抱かざるを得ぬ。之が幸にして杞憂ですめばよいが、うつかりしてゐるに取返しのつかぬ事にならぬとも限らぬ。今に於て覺醒一番、局面の展開を講ずるは最も急務ではあるまいか。之れに就ては村當局を初め現在經營の任に在る戸主側の方々に、大考慮を願ひ度く、同時に其後繼續者たる青年及び壯年の方に、大いにやつて頂き度く思ふ次第である。○之に就てはあなたも工夫して居られるでせうが、御參考

杞憂生

迄に一つ思考を披瀝して見ようと思ふ。

第一補習教育の振興

○一國一家の活力は青年に待つ、青年子弟の良否は直に一家一國の盛衰を卜する事が出来る、其青年の良否の分る時期は小學校卒業後の二三年に在る。補習教育、青年學校の重要性は茲に在る。古來各藩が皆青年教育に力を竭せしも、其指導者の人を得たるを得ざるは、大いに人材の良否に關係したるを見て分る。○故に少しは高給を支拂ふても、よい人物を獲て其の指導を托せねばならぬ。青年期にある御本人等も、大に修養研讀我が天賦の美質を玉成せねばならぬ。体力の健否、學問の優劣は、天賦によることもあれども、人物養成の一事は學校の試験成績とは、別問題である。學校で二番の卒業者かならずしも社會の優勝者ならず、學校の劣敗者かならずしも社會の落伍者でない。茲に於てか人各々其天分の別ある事が分る。

○天の試験は人の試験とは違ふ、優秀者油断すべからず。劣敗者落膽すべからず、各其力を竭し分に安んずる所、各人各自其使命ある事、恰も栗は土臺によく、楡は柱によく、松は梁によく、土は

産業組合精神に就いて

壁によく、半腐の糞はスサに適し、何一つとして廢物なきが如し、要は之を用ゆるもののみ、此發見は補習時期にある。

第二目的の結果の區別

○よい事をすれば信用を得、勤勞すれば報酬を得るは、世の通常なり。茲に人あり、甲は信用を得んが爲めによい事を爲し、報酬を得んが爲めに勤勞を爲すせんか、此の人は信用や報酬を目的としたる人なり。乙はよい事を爲すを好み、勤勞を樂しんで爲し、信用や報酬は意中にならざらんがせいで目的ではない。

○善行を好み勤勞を樂しむる人には信用と報酬は求めずして得らるべく、又得ずして

産業組合精神に就いて

雖も不平なく失望なし、信用や報酬を目的とする事は、若し相當の酬ひを得ざれば不平失望、やがては爲すべき事も爲さず、結局目的のせし信用も報酬も自然失ふに至るべし。

○現時の人、俸給取りも、實業家も、甲の如く信用や報酬を目的とする傾向多からずや故に間違ふ骨折りの損のたがはれぬ様になり、其仕事に身がはらぬ様になり、心身共に疲れきつて人生勤勞の特權を味はひ得ず、却て苦勞を感じ活力を失ひ、健康さへも失ふに到らん。目的の結果を正しく考へる事は能率の増進となり、心身の伸展となり、瘦せ我慢は變じて肥え我慢なるべし。之れ仁里の美風養成の秘訣なり。

産業組合精神に就いて

「生」の實をあげるのである。次に組合を普通の銀行會社と同じ視しがちである。組合は斯くの如きものではなく一族の如く精神的結合であることを忘れてはなりません。前述の如く相互に資金を融通し合ひ有無相ひ通じて自力更生を計るに共に、更に進んで精神的に相互に激勵し訓戒し合つて經濟更生の實をあげねばなりません。株式會社は多數の株式の結合であり、唯々配當金を目當として結合するに反して組合は人格の結合でしかも寧ろ利益金の少ない事を誇りしなればなりません。即ち組合員から利益金を奪つてゐるのであります。亦組合は直接に組合員各自の經濟的利益を得るばかりでなく、組合を中心として間接に幾多の利益を得るのであります。即ち精神的結合によつて相互に訓戒し合つて自分の足らざる點を補ひ協力して經濟更生を計る云ふ麗しい精神的成果である。相互に手を取り合つて行かねばなりません。これは恰も平和な家庭は親子兄弟皆温い愛に依つて結ばれてゐる同様に組合も一族の如く結合して激勵して行かねばならぬと思ひます。従來の如く相互に徒に競争し共倒れの悲惨を見てはなりません。日本には昔から隣保相助ける美しい精神が地方に行き程著しく發達してゐるが、此の精神を現代の消費經濟や生産經濟まで及ぼし組合の精神に依つて正しく導かねばなりません。それ故に自分だけが抜擲的に儲けようしたり、一人我儘をする様な利己主義は組合から絶対に排斥すべきであります。

山崎延吉先生の汗の人生

位するをして居ても他の組合員がやつてくれるだらうと軽く考へることは絶対にいかなるものでもない。各自自ら進んで他人を助けるだけの心掛けを欲しいものであります。それにはさうしても組合の設備を、さうして利用したり共同に農具を購入したりすることは必要であるが更に農産物の生産技術を互に教へ合つて生産物の増加を計るべきである。

以上に渡つて少しく「相互扶助」の誤れる認識を指適して眞の意義について僅かに明らかにし得たこと、思ひます。

「相互扶助」といふ麗しい言葉に徒に眩惑されることなくしてその裏に潜む眞の精神を正しく認識するに共に經濟生活の實行にまで及ぼさねばならぬと思ひます。亦組合員各自が「相互扶助」の一面たる自力更生、相互助力、相互訓戒、相互自重及び相互生産等を正しく認識してこそ組合の發達の前途もまた揚々たるものであると確信するものであります。以上

山崎延吉先生の汗の人生

人生は汗で流れねばならず流されねばならぬものである。時の流れは畢竟汗で流れ、人生の更新も其汗で流されるのである。人の築き上げる文明がある文化は皆汗の結晶である。汗のない人生は墮落であり、汗の出ない人生は寂滅である。人は汗に依り生き汗により生ずべきものである。されば汗は人生の表徴であり従つて生存の本質生活の基調でもある。

汗は勤勞により流れ、勞働によつて湧く、故に汗の人生は勤勞であり、汗なき人生は怠惰である、されば勤勞は即ち人生であり、怠惰は即ち死である云ひ得る。

働いて流る、汗は不潔のものを流し、不潔のものを流して呉れる。汗の人生は社會の汚毒墮落の氣を一掃し洗ひ去つて仕舞ふものである。故に眞の文明は汗で迎へねばならぬものである。文明人は汗の人であり、文化人も汗かく人であらねばならぬ。汗なき人生は平和も幸福も之を天上に驅逐する。働かぬ人、働かぬ人、共に煩惱の犬となり果つる。吾輩は汗の人生を迎へんことを高唱し、汗の社會を作らん事を絶叫し、以つて世界の平和、人類の幸福を見るべしとする。

雙刃劍

議會は余す所旬日、未だ重要法案山積で會期延長必然はあまりにも冗沓だ。

○それも政黨泥仕合の爲云ふに到つては國民をベカにするにも程がある。

○天皇機關説は内容の如何に拘わらずに「機關」の言葉そのものが悪いひびきだ。

○貧弱村の經濟更生情況は三好部長に何んぞ映つたか？

○せいふ「乙の下」位なものでせうな。心細い！心細い！

○女子消防は一寸ふるつてますネ。火の用心にシクはないが、無用の長物ならぬ様御用心！

○案の上乗價は一寸しづつたにてくつた氣で居る馬鹿を見ますゾ！

○農會選舉は四月一日

苗代に就て

竜丘村農會

一、苗代の位置
イ、四方開潤で日當り風通しが良い處を選ぶべき事。
ロ、管理及運搬に便利なる事。
ハ、水利に便なる事。
ニ、土質の軽しようなる所

右の如き條件を考慮して撰定し尙年々同一の土地に設置して漫りに變更せぬ方が良し。蓋し用地變更する時は肥料の適度を知らず難く其他不慣れの爲往々失敗を招き易いからである。

二、苗代の種類
イ、水苗代
ロ、陸苗代
ハ、折衷苗代
三、苗代の整理
イ、水苗代

晩秋十一月下旬頃打起し置きたるものを彼岸前後に於て小切をなし稲株を除去す、かくして播種敷日前に於て適當數回の代掻きを行ひ、後直に畝を以て表面を平坦にす。平坦の場合はこの儘にて短冊形に播種するものなるも揚床をなす場合は更に土耕の適宜固るを俟ちて床巾四尺通路一尺高さ三寸内外に短冊形の揚床を作るのである。揚床は平床に比して排水に便にして殊に換水は完了に行われ、随つて苗の腐敗病の發生少く、尙苗の生育を調節し得て徒長せしめる事が少く、強剛苗を育成し得る長所あり。

普通使用されず又收穫量に於て水苗代より悪き爲記せず。
ハ、折衷苗代
稻刈取後株拔を行ひ尙表面の凹凸を平に掻きならし其儘越

前表に示すが如く挿種遅れるに隨ひ遅播區の方收穫多き傾向を認む。右表を思考し播種の適期を擧げれば左の如きならん。

(市田分場調)

Table with 2 columns: 區名 (Area Name) and 平均 (Average). Rows include 六音播, 三石罌, etc.

苗育生との關係は深水こそは生長促進せられ、淺水こそは抑制せられるものにして是等の關係に就て巽に市田分場の成績を示す。その詳細は省略せらるる全生育期間殊に生育の初期に於て深水の方生長早き傾向あり。

陸軍記念日 祝音樂會決算報告
奉 陸軍記念日 祝音樂會
収入金 五拾四圓七拾錢也
内譯 前賣券(六三二名) 參拾壹圓五拾五錢

竜丘男女青年會教育部

除き日中は可成淺水(床面ミ略々水平)をなし、夜間は一般に氣温下り、時に依つては降霜の慮あるものなれば相當深水(床面二寸以上)をなし尙夕方灌水の際一應淺水を全部排除して別に温水池に於て温めたる温水を以て灌水するものなり。苗代灌漑水の深度ミ

七、苗代肥料
イ、施肥料
旋肥料は苗代日數播種量等ミ密接なる關係あり、苗代日數多き時、播種量厚き時何れも施肥量多きを要するものなり

長野縣米の地位
我が長野縣産米は検査實施以來日尙淺きに拘らず長足の進歩をなし縣内取引の圓滑を見るのみならず政府の公定格差に於ても左表に見る如く昨年度産米より一圓二十錢値上りたるのみならず、横の格差に比較項

午中落水し前記ボルドー液を噴霧器を以て撒布二、三時間後灌水)
二、ナエ取前泥負虫浮塵子小青虫イナゴ幼虫を驅除する爲除虫菊石鹼液(除虫菊二一三十九、石鹼二十、石油一合)

以上の諸因に依るものと思はる。從來自給自足若しくは小區域取引に限定されたる地方多き爲め栽培品種選ばな

以上諸因に依り長野米の価格は尙未だ優位を占むるに至らざるは遺憾とする。

以上の諸因に依り長野米の価格は尙未だ優位を占むるに至らざるは遺憾とする。

『經濟更生』視察の爲め

二三好經濟部長來村

末會有の農村不況に直面し目下その打開更生案に公民こぞつて腐心の折柄其の實地視察の爲め三月九日縣の二三好經濟部長を始め、石丸、農商課長、穂坂、耕地課長、紺野技師、岡本技師及び上條、大澤技師、飯田耕地課出張所より兒島所長池上技師、吉田技師、他吉川縣議、原幹事長、郡農會の井口技師等多數來村、役場に於て約一時間餘に亘り農村經濟更生の爲に協議し歸縣されたが是によつて吾が村も得る處が多かつた。

奉安殿設立と

体操場・運動場

擴張を協議

▼一小学校五十週年記念事業として一▲

本月十四日は小学校創立五十週年記念日に當るので村會議員、學務委員、小學校教員他各種園休長等小學校に參集しが祝賀會を開催同記念事業につき協議したが、爾來兒童數の増加により体操場及運動場の狭少を訴えて居る折柄是が擴張の爲め建築案であつた奉安殿設立の實現を提唱し、近々村會に提案する模様であるが時節柄約一萬六、七千圓の豫算は學校及村の基本金を全部流出しても尙三、四千圓は村費に俟たなければならぬから實行着手は未だ確定的なものではない。尙小學校の沿革を示せば左の通りである

明治十九年三月十四日創立(當時は桐林學校と稱す)
明治二十二年前名を廢し龍丘學校と改む。
明治二十五年高等科を設く(通學區域竜丘、下川路、三穗)
明治三十六年校舍焼失
全三十七年校舍新築
明治四十年駄科學校、龍丘學校の名を廢し、竜丘尋常高等小學校と改め駄科は分校場となる。
明治四十四年新築中の北館焼

Table with 2 columns: 駄科 (39人), 長野原 (11人), 時又 (27人), 桐林 (35人), 上川路 (5人)

養蠶家の利潤は工場から

昭和八年六月より昨年九月迄の生糸百斤に對する生産費の調査を縣蠶糸課に於いて今年二月未發表した處によれば、織工賃金の減額と繭の解糸の良好によつて、營業製絲百七

新入學兒童數

四月一日日本村小學校に入學する兒童數は左の通りである。

時—女性の進出 非常 女子消防設立

竜丘女子訓練で『消防の家庭化』

竜丘女子訓練では村消防組を提携して郡下で最初の女子消防を設立すべく計畫中で、村當局との折衝經費の捻出等に東奔西走のかたはら服装の統一訓練等に就いてもより、協議されて居る。目的は専ら消防の家庭化で非常時の場合の留守や火の用心なごに意をそ、ぐものこされてゐるが竜丘消防組でも大分力を入れて居るから多分四月頃か實現される模様で之が實現の時は消防團休として亦一つ他村に

産業 研究會再建

先に創立された竜丘産業組合研究會は其の後しばしば不振を傳へられて居たが、去る三月六日午後一時より製糸組合に同志參集當日の産業組合記念日を劃しこれが再建につき協議し、青壯年有志を糾合して再び活動を開始する事になつた。因に會長は今村禮二氏が選任さる。

十七、二錢、組合製絲百八十圓九十五錢で前年度より營業製絲七圓三十錢、組合製絲十圓十三錢の減額であり、繰上金率は一釜當り一日百六十一匁にして前年よりは四十匁の増加である。

農會役員改選

農會役員選舉は四月一日役場に於て施行されるが今回の特異例としては各部別に定員を判定し其の部落民は其の部落のうちより役員を選舉する事、何時も乍ら選舉は最も公平になすべきである。左は部落別役員定員數である。

Table with 2 columns: 駄科 (8人), 長野原 (2人), 時又 (4人), 桐林 (7人), 上川路 (4人)

安全剃鬚 新生堂

日常社會生活の中にて痛感する矛盾や、不正や痛恨すべき記事その他短文の事紙上匿名隨意載否は一任を乞ふ



反響欄に寄す 一讀者 報紙上に時々姿を見せる反響欄を何時も期待し、興味深く讀む一人である。

希望圖書募集

今回第二回圖書購入に際し左記要項により廣く愛讀者諸賢から希望圖書の募集を致します

愛讀者座談會

今般左記により廣く愛讀者各位の御參集を願ひ、時報及び圖書館に關し各方面に渡つて座談會を致したいと思ひます。

陸軍記念日の慰靈祭

竜丘軍人會では三月十日日露戰爭三十週年記念として慰靈祭を舉行し日露戰爭に滿洲の野に露み消えた靈をねんごろにむらつた。續いて記念祝賀會には從軍々人を全部招待し、日露戰爭を回顧したが前澤玉吉氏、山坂千恵氏の實戰談は並居る軍人に感銘を與へて六時散會した。

丘のいろく

駄科青年會では三月一日、二日、三日と自治講習會を開催大分盛況であつた。

竜丘小學校では三月六日の地久節に祝賀の音楽會を開催全じく六日上川路女青では染物講習會を催した。

三月十五日山林會吉田技師桐林共和會植林の指導の爲來村塚原ナエ木も視察した。

全十五日郡農會上津技師を招じて小家畜飼料及び管理につき講習會を役場に開催。

希望圖書募集

今回第二回圖書購入に際し左記要項により廣く愛讀者諸賢から希望圖書の募集を致します

愛讀者座談會

今般左記により廣く愛讀者各位の御參集を願ひ、時報及び圖書館に關し各方面に渡つて座談會を致したいと思ひます。

陸軍記念日の慰靈祭

竜丘軍人會では三月十日日露戰爭三十週年記念として慰靈祭を舉行し日露戰爭に滿洲の野に露み消えた靈をねんごろにむらつた。續いて記念祝賀會には從軍々人を全部招待し、日露戰爭を回顧したが前澤玉吉氏、山坂千恵氏の實戰談は並居る軍人に感銘を與へて六時散會した。

丘のいろく

駄科青年會では三月一日、二日、三日と自治講習會を開催大分盛況であつた。

竜丘小學校では三月六日の地久節に祝賀の音楽會を開催全じく六日上川路女青では染物講習會を催した。

三月十五日山林會吉田技師桐林共和會植林の指導の爲來村塚原ナエ木も視察した。

全十五日郡農會上津技師を招じて小家畜飼料及び管理につき講習會を役場に開催。

露 景品付大賣出し

三月二十一日より 一週間

萬年筆修理部新設

診察無料 一度入院を! 萬年筆の月賦販賣致します

久米屋書店

各種文具部擴張

伊原酒店

花見の酒は喜久水

青島商店

春向生地入荷! 洋服ズボン 胖物類

田中屋胖物店

朝日地下足袋安價提供!

御菓子

慶弔引菓子 藤屋菓子店

若木屋菓子店

節句の贈答品に若木屋の ひし菓子

家庭



子供の皆さんえ!!

お雛様について

面白いお話

雛祭の起り

昔は男女共に雛を祭り
ました

お節句は(三月三日)の
邊では四月三日にしてゐま
す)皆さんの一番楽しい雛祭
りです。一体この雛祭は何時
頃から始まつたものか云ふ
と、お節句に雛祭が催される
様になつたのは今から約三百
年前前寛永年間からで、それ
以前は節句に限つた事なく何
時でもよく、亦昔は男女共に
お雛様を祭つたもので、女の
のお祭となつたのは徳川末期
の頃からです。

皆さんが恙なく育つ様

お父様お母様のお祈り
雛祭りの本當のいわれ

さてこの雛祭りの本當の
いわれは、皆さんが恙なく育つ
様に御父様御母様の御祈り
から起つたもので、昔は子供
が生れると、災難にかゝらぬ
様に紙や布で人形を作り、
それで赤ちやんの体を撫で、
悪い事は皆人形に身代りにな
つて貰ふ云ふ習慣があつて
其の子供にも無病息災に
過ごせる様に、何んでも悪
い事は人形に、良い事は子供
達に、なか／＼虫のよい御
願ひをかけたものです。そう
して一年間無事に送ることが

煮物の注意

いろいろ

◇煮置きの際は炊き殖も多
く時間も早く経済だ。
◇米を釜の中へ中くぼみに入
れて炊けば決してシヤンが出
来ない。
◇煮出汁を取るのに余り煮過
ぎると却つて味が悪い。
◇汁物を煮るには初め強火に
し段々弱火にする味がいい。
◇堅い豆を煮るには灰を一握
ふりかけると軟くなる。
◇小豆を早く軟かに煮るには
竹の皮をさいて入れるとよ
い。
◇乾瓢は水に浸して鹽揉にし
れば早く煮る。
◇昆布を煮る時酢を入れると
非常に軟かになる。

和服裁縫

メートル

和服裁縫の標準寸法は次の通
りである。
(女長着)
身長一五〇釐 袖丈六〇釐
袖口 二二 袖付二三
袖幅 三二 行 六三
肩幅 三一 後幅二九
前巾 二二 脇巾一三
抱巾 二一 襟巾一五
裾下り二三 襟下七五
襟巾一五 襟肩明九五
(掛蒲團)
四布掛襟一三〇釐
五布掛襟一五〇釐

経済で栄養的な

味の素の作り方

おいしく戴けます

材料—鹽昆布五十匁、上等の煮
干五十匁、黒胡椒五匁、淺草
海苔二三枚、外に若しあつた
ら紫蘇の葉の鹽漬少々。
父さん、お母さんを有難く思
ひ、お雛様の様に皆仲よくし
て孝行を盡す様考へなければ
なりません。

赤ちやんの

顔色や泣聲を

音兒の秘訣

赤ん坊の泣き聲と顔色に常に注意する事は子供を育てる
に大切な事、原因によつて泣聲や顔色が違つて来るも
のです。其の泣聲と顔色に依つて嬰兒の疾病其の他故障
を知り早く手當をする事が出来るのですから、音兒に當
つて母としては、常に其の點に注意を拂ふべきでせう。

腹痛消化不良の時

此の時の泣き聲は「イ」の音が
強く乳房を離して突然はげし
く泣きます。兩足をぢぢめ時
による腹につける様に泣く
事があります。便通があるこ
とに取ります。次に黒胡椒も焦
さぬ様に煎のやほり摺りつづ
し、さきの器に交ぜ置き猶上
等の海苔を裏表から青味が出
る程度にあぶり手早く揉んで
前の諸材料によく交ぜ合せま
す。これで大体出来上りです
が、これに紫蘇の葉の漬けた
のをよく、天日に干してパサ
／＼に乾いたのをさつ火取
り、やはり摺りこなして交ぜ
合せると味が利いた味になり
ます。これは経済的で栄養上
からもよく大變おいしいもの
です。

女性の進出

協力一致

嘉子

何分大勢の人の集り特に女の
人達の集り、何事も感情が
先に立つものですが、長い間
には色々な事情により意見の
相違もございませう亦自分の
考へてゐる様にならないこと
もございませうが、或程度ま
では耐へ忍んで個人的な考へ
を起さない様に仕度のもを存
じます。亦悪い所手落ちの所
なき蔭ではいはいでせん／＼
發表してお互に良くして行き
たいものです。
この行きつまつた農村に女性
同志が共力一致共に手を取り
かきむしる様にして劇しく泣
きます。

中耳炎の時

咽喉に疾患ある時

聲がしやがれ甚だしい時は聲
が出なくなり刻をこまないま
す。肺に故障のある時はうめ
く様に泣きます。

脳膜炎の時

大聲には泣
かす目を開いてうめく様に泣
きむやみ四肢を動かします
空腹の時「ア」音で口を
もへ／＼させ目を開き涙なし
に節を付けて泣きます。

トシ死



下瀬君は仲々人が
悪いまじめで聞いて
ゐる時々々々目
に合ふよ。此間もこ
んな事があつてね。
下瀬君に道でばつた
り行き合つたら
「おいトシ死があつ
たつてね。」と突然云つたん
だ。
「本當かい？どこに？」僕は
せき込んで聞いたもんだね。
「君知らないのかい。近所じ
やあ、トシ死だ大騒ぎだ
合つて不況打倒に邁進したい
と思ひます。」

追想

下水生

淡い月夜に思ひ出す
在りし恩師の温顔を
思へば淋しくなりました
郷空の月も淋しそう
郷空の星も淋しそう
すーい落ちた 流星
名残惜しげに尾を引いて
恰も消えたる 星の如く
此の世を去つた
我が恩師
淡い月夜の追想に
思はず落ちる涙雨。
此詩を去りし今村先生に
送る



ららら春だよ
ちぎり
ららら春だよ
ちぎり
ほのぼのの
お山権現様
かすむよね
ホイ麥も伸びたね
あのだんだら田
ららら春だよ
うすうすこ

短歌

「ホーウ亦何で死んだんだい」
「それがトシ死からなかつ
てさ。」
「何處だそりや？」
「××だよ、トシで行つて見
て来給へ。」
「や、そうか。僕はあわて、
かけ出したんだ。
下瀬君にはさぞその時の僕
の様がトシの間抜けに見えた
事だらう。それにしてもいま
／＼しかつた。
いや何、死んだのは豚だつ
たんだよ。」

春

野で拾ふ

紅梅や風にさらされる長襦袢
軟風や吹き、る梅のこ、かし
こ
川を遊にてふく流る南風
春雨や赤い信女の碑面の字
目にこらせばきらめく雲雀あ
がる／＼
春
文 子
裏山に梅はころびて鶯の聲
陽炎や遠く胸嶺はまだ白し
土平草に身を投出して雲雀哉
◆川柳◆
初子 雛壇 けん坊
新妻の子にかこつける「て」を
覚え
總領のじゆんろくこなるわけ
があり
寝てる赤子が別に頼んだわけ
でなく
雛壇の何かつまんで叱られる